

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社METRO PLUS

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ITクリエイター科	夜・通信	348～922	160	
	ITライセンス科	夜・通信	306	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校WEBサイトにて公表 https://pinfo.metro.ac.jp/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	メトロ I T ビジネスカレッジ
設置者名	株式会社METRO PLUS

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	メトロ I T ビジネスカレッジ学校評価実施規程 第 1 0 条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聞き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
印刷会社 代表取締役	2025/04/01～ 2027/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先
大学教授	2025/04/01～ 2027/03/31	教育に関し知見を有する者
システム開発会社 社員	2025/04/01～ 2027/03/31	卒業生
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	メトロITビジネスカレッジ
設置者名	株式会社METRO PLUS

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 2月末までに翌年度の科目一覧および概要の作成を行い、それに基づいて各科目の詳細授業計画の作成を行う。3月に学校自己評価および学校関係者評価を行う為、その結果を反映させたものを確定版として新学期開始時に学生へ提示する。 外部に対しては、確定版を学生への提示と同時期に学校ホームページにて公表する。	
授業計画書の公表方法	学校WEBサイトにて公表 https://pinfo.metro.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
1) 評価項目 出席・学習態度・理解状況・作品・検定試験結果で評価する ※作品および検定試験結果については任意項目とする 2) 評価基準 出席：出席率に応じて5段階評価を行う 授業態度：担当講師の視点による5段階評価 理解状況：課題提出状況およびテスト等による5段階評価 作品：授業での成果物に対する5段階評価 検定試験：合否および試験での得点状況による5段階評価 ※通信制においては、科目レポートをはじめとした提出物等による提出状況及び理解度の5段階評価と、スクーリング実施時は、スクーリングの出席、授業態度による評価を行う 3) 全体評価 評価基準を元に各科目に関する評価を以下の方法で求める スコア＝評価値合計÷(評価項目数×5)×100 ※科目単位およびクラス単位での順位はスコアを基に決定する 算出したスコアを基に各科目の成績(A～F)を決定する A：スコアが80以上 B：スコアが60以上80未満 C：スコアが40以上60未満 D：スコアが21以上40以下 F：スコアが20以下 ※全学科同一の基準を適用 ※各科目における具体的な評価基準についてはシラバスに記載	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 科目ごとに評価をスコアとして数値化して算出しており、スコアの平均を半期単位で集計しクラス内の順位を確定させる(前期・後期・通年) ※各科目における具体的な評価基準についてはシラバスに記載し公表する ※各科目終了時点で評価した結果については情報として一元管理し、コンピュータ上で参照して学生指導に活用できるようにしている ※全学科同一の基準を適用 (補足) 前期に試験の行われない科目については、後期分として計算する	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校WEBサイトにて公表 https://pinfo.metro.ac.jp/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 以下の条件を満たす場合に卒業を認める 1) 各年度における出席率が概ね80%以上であること ※通信制においては、スクーリングの出席率を用いる 2) 履修が必要な科目においてD評価以上であり、所定の総授業時数以上を修得していること 学生の状況については、職員会議にて情報を共有し、卒業認定についても同会議において確定させる。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校WEBサイトにて公表 https://pinfo.metro.ac.jp/

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	メトロ I T ビジネスカレッジ
設置者名	株式会社METRO PLUS

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://pinfo.metro.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://pinfo.metro.ac.jp/
財産目録	
事業報告書	https://pinfo.metro.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://pinfo.metro.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【IT クリエイター科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	I Tクリエイター科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,700 単位時間／単位	693～	1295～				
			1267	1869	0	0	0	
		単位時間／単位		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		96 人	0 人	8 人	2 人	10 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）I Tやビジネススキルの基礎を学習し、選択必修科目・選択科目を設けることで各専攻分野に特化した学習ができる。各自が目指すキャリアプランに応じた科目履修が可能となり、I Tを軸にした様々な分野の基礎力・応用力を習得する。
成績評価の基準・方法
（概要）各講座の出席率、授業態度、理解状況（テスト・課題提出等）、検定試験結果で評価し、評価結果を数値化してスコア値を求め、スコア値を基にA～DおよびFの5段階（A：秀、B：優、C：良、D：可、F：不可）で評価する
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業：出席率概ね80％以上、かつ、履修が必要な科目においてD評価以上であること 卒業：上記に加え、所定の総授業時数以上を修得していること
学修支援等
（概要）放課後等を利用した補習を行い、理解状況が不足する学生に対する支援を行う。

【IT クリエイター科（続き）】

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52 人 (100%)	1 人 (1.9%)	34 人 (65.4%)	17 人 (32.7%)
（主な就職、業界等） 情報処理サービスに関する業務（プログラマー、システムエンジニア）、製造業、営業職、経理・事務職、DTPオペレータ、Web広告制作・運用、他			
（就職指導内容） 学校および㈱METRO PLUS の就職支援部門の両者による各種支援（キャリア教育・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験各種、Java プログラミング能力認定試験、情報セキュリティ管理士試験、秘書検定、日商簿記検定、日商PC検定、色彩検定、MOS各種、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99 人	6 人	6.06%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任や学校長による個別面談、また保護者との協力した支援等を実施		

【IT ライセンス科】

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	I Tライセンス科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	通信	1,600 単位時間／単位	1309	291	0	0	0
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		0 人	0 人	1 人	2 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）I Tやビジネススキルの基礎を学習し、就職を見据えた自己分析や就職対策、資格取得のための学習ができる。実務面等は、毎月実施するスクーリングにて対面学習を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要）科目レポートをはじめとした提出物、理解状況（テスト・課題提出等）、スクーリングにおいては出席率や授業態度、検定試験結果で評価し、評価結果を数値化してスコア値を求め、スコア値を基に A～DおよびFの5段階（A：秀、B：優、C：良、D：可、F：不可）で評価する	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 進級・卒業:履修が必要な科目においてD評価以上、スクーリングの出席率概ね80%以上であること	
学修支援等	
（概要）毎月のオンラインホームルームや、スクーリング時の対面フォローを行い、理解状況が不足する学生に対する支援を行う。	

【IT ライセンス科（続き）】

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 情報処理に関する業務（企業内システム担当）、営業職、経理・一般事務職、他			
（就職指導内容） リモートもしくはスクーリングによる就職支援（面接指導・就職試験対策・ビジネスマナー教育等）を行う			
（主な学修成果（資格・検定等）） I T パスポート試験、M O S 各種、秘書検定、ビジネス文書検定情報セキュリティマネジメント試験、日商簿記検定、日商 P C 検定、色彩検定、他			
（備考）（任意記載事項） 令和 7 年度新設学科であり、令和 7 年度入学者なしのため、実績なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
I Tクリエイター科	120,000 円	700,000 円	350,000 円	
I Tライセンス科	150,000 円	400,000 円	200,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校WE Bサイトにて公表する		
学生 : https://metro.ac.jp/contents/assessment/assessment_self.php		
講師 : https://metro.ac.jp/contents/assessment/assessment_instructor.php		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
評価委員 (関連業界関係者 2 名、教育に関し知見を有するもの 1 名、卒業生 1 名) に来校していただき、本校職員および運営会社役員も出席して学校自己評価結果の各項目に関する検討を行い、年度途中に検討事項の実施状況に関する中間評価を行う。ここで出た意見を以後の学校運営およびカリキュラム内容に反映させ、社会のニーズにあった質の高い教育を行う学校にすることを目的とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
印刷会社 代表取締役	2025/04/01～ 2027/03/31	関連業界等関係者 ※学生の就職先
大学教授	2025/04/01～ 2027/03/31	教育に関し知見を有する者
システム開発会社 社員	2025/04/01～ 2027/03/31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校WE Bサイト https://pinfo.metro.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
学校WE Bサイト http://www.metro.ac.jp/